

1. 科目名 (単位数)	社会福祉原論 (4単位)		3. 科目番号	SBMP1103
2. 授業担当教員	佐藤 惟			
4. 授業形態	講義・ディスカッション		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	社会福祉の原理や理論、福祉政策、福祉サービスの供給体制などについて、概念や理念、歴史的展開などを踏まえて理解する。さらに、社会問題と社会構造の関係や国際比較の視点などを通して、日本の社会福祉の特性や今後のあり方についても考察を深める。			
8. 学習目標	<p>以下について学習し、理解できるようになる。</p> <p>1 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。</p> <p>2 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。</p> <p>3 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。</p> <p>4 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。</p> <p>5 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。</p> <p>6 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。</p> <p>7 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。</p>			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	前半期と後半期にそれぞれ1回ずつ (計2回) レポートを課す。レポートの題目及び執筆規定については授業の中で指示する。また、小テストの一環として毎回の授業で教科書等の一節の書き取りを行い提出してもらう予定である。			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】最新社会福祉士養成講座4「社会福祉の原理と政策」中央法規。</p> <p>【参考書】東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p> <p>東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>成績評価の規準</p> <p>7つの目標について関心を高め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</p> <p>7つの目標について学習し、理解することができたか。(知識・理解)</p> <p>7つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)・評定の方法</p> <p>(1) 平常点 (授業態度・発表・発言・学習課題など) 40%</p> <p>(2) 課題レポート 30%</p> <p>(3) 定期試験 30%</p> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>1. 遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する(した)場合は書面で教員に届け出ること。</p> <p>2. レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。</p> <p>3. 私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。</p> <p>4. 教員が発言を促した時には、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べてほしい。</p> <p>5. 内容の理解度を確認するため、10回に1回程度、確認テストの実施を予定している。確認テストの前は、それまでの授業内容の復習を怠らないこと。</p> <p>6. 教科書等の輪読と一節の書き取りを行うことで知識の定着を図るとともに、読解力および文章作成能力の基礎を培ってもらいたいと考えている。積極的に取り組んでほしい。</p>			
13. オフィスアワー	別途、連絡する。			
14. 授業展開及び授業内容				
授業内容			学習課題	
第1回	オリエンテーション (講義概要、講師紹介等) 社会福祉とは何か①社会福祉の原理、政策、実践	事前学習 事後学習	事前に講義概要について目を通しておく。 社会福祉とは何か、自分の考えをまとめる。	
第2回	社会福祉とは何か②制度政策としての社会福祉、実践としての社会福祉	事前学習 事後学習	配布資料を読む。 社会福祉と福祉政策の関係についてまとめる。	
第3回	社会福祉とは何か③社会福祉の理念1:人権、生存権とナショナルミニマム	事前学習 事後学習	配布資料を読む。 人権や生存権についてまとめる。	
第4回	社会福祉とは何か④社会福祉の理念2:ノーマライゼーション、自立支援、社会的包摂	事前学習 事後学習	配布資料を読む。 ノーマライゼーション、自立支援、社会的包摂についてまとめる。	
第5回	わが国の社会福祉の歩み①戦前	事前学習 事後学習	教科書 pp. 34~40 を読む。 戦前の社会福祉の歩みをまとめる。	
第6回	わが国の社会福祉の歩み②戦後	事前学習 事後学習	教科書 pp. 40~45 を読む。 戦後の社会福祉の歩みをまとめる。	
第7回	英米の社会福祉の歩み①生成期、発展期	事前学習 事後学習	教科書 pp. 22~26 を読む。 英米の社会福祉の発展期についてまとめる。	
第8回	英米の社会福祉の歩み②成熟期、転換期	事前学習 事後学習	教科書 pp. 26~33 を読む。 英米の社会福祉の成熟期についてまとめる。	
第9回	現代における社会福祉①社会福祉の考え方	事前学習 事後学習	配布資料を読む。 自己決定とパターンリズムについてまとめる。	

第10回	現代における社会福祉②社会福祉の理論 ; 確認テスト①	事前学習	教科書 pp. 282～288 を読む。
		事後学習	福祉レジーム論についてまとめる。
第11回	社会福祉政策と福祉ニーズ①ニーズ(必要)とデマンド(需要)について	事前学習	教科書 pp. 134～151 を読む。
		事後学習	ニーズとデマンドの違いについて理解する。
第12回	社会福祉政策と福祉ニーズ②資源(リソース)の考え方について	事前学習	教科書 pp. 152～163 を読む。
		事後学習	社会資源の考え方について理解する。
第13回	社会福祉関係法制と運営①法源としての憲法	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	法源としての憲法を理解する。
第14回	社会福祉関係法制と運営②国際的条約と社会福祉	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	国際条約と社会福祉の関係を理解する。
第15回	社会福祉関係法制と運営③社会福祉六法と社会福祉法	事前学習	教科書 pp. 194～200 を読む。
		事後学習	社会福祉六法と社会福祉法を理解する。
第16回	社会福祉関係法制と運営④様々な福祉の法律	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	様々な社会福祉の法律を理解する。
第17回	社会福祉行財政の理解①社会福祉行政	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	社会福祉行政の体系をまとめる。
第18回	社会福祉行財政の理解②社会福祉財政と費用徴収	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	社会福祉財政と費用徴収をまとめる。
第19回	民間福祉活動の理解①先進的な取り組みと制度化	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	民間福祉活動と国の制度の関係をまとめる。
第20回	民間福祉活動の理解②社会福祉法人、NPO 法人ほか; 確認テスト②	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	社会福祉法人、NPO 法人についてまとめる。
第21回	社会福祉援助の体系と担い手①社会福祉援助技術の体系	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	社会福祉援助技術の体系をまとめる。
第22回	社会福祉援助の体系と担い手②福祉専門職を取り巻く現状と課題	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	福祉専門職を取り巻く現状と課題をまとめる。
第23回	福祉政策と関連施策①保健医療政策	事前学習	教科書 pp. 224～227 を読む。
		事後学習	保健医療政策についてまとめる。
第24回	福祉政策と関連施策②教育政策	事前学習	教科書 pp. 228～232 を読む。
		事後学習	教育政策についてまとめる。
第25回	福祉政策と関連施策③住宅政策	事前学習	教科書 pp. 233～238 を読む。
		事後学習	住宅政策についてまとめる。
第26回	福祉政策と関連施策④労働政策	事前学習	教科書 pp. 239～244 を読む。
		事後学習	労働政策についてまとめる。
第27回	福祉政策と関連施策⑤災害政策	事前学習	教科書 pp. 245～251 を読む。
		事後学習	災害政策についてまとめる。
第28回	災害支援対策の実際	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	災害支援対策についてまとめる。
第29回	福祉政策と関連施策⑥多文化共生の実現に向けた施策	事前学習	教科書 pp. 202～209 を読む。
		事後学習	政策についてまとめる。
第30回	まとめ; 確認テスト③	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	これまでの授業で学んだことを振り返りまとめる。